

2/2  
具福

# 自立支援住宅火災11人死亡

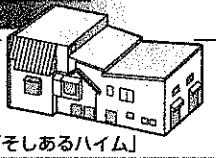
## 札幌生活保護の高齢者ら



火災で激しく炎が上がる自立支援住宅「そしあるハイム」  
「11午前0時ごろ、札幌市東区で（近隣住民提供）」

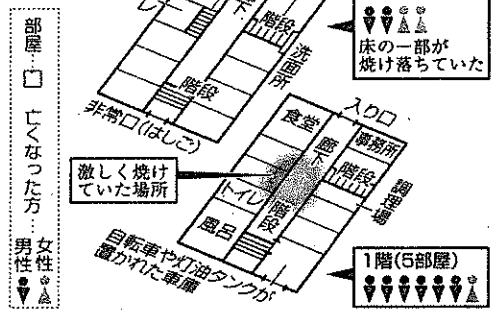
### 自立支援住宅内の状況

- ▶木造一部3階建て
- ▶入居者16人（40～80代）  
うち計11人が死亡  
男性8人 女性3人



「そしあるハイム」

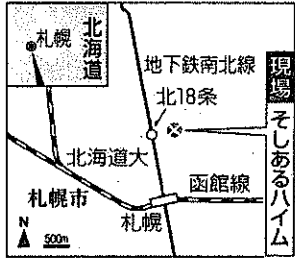
※札幌市消防局や関係者への取材を基に作製



部屋 □ 亡くなった方  
女性 ♀  
男性 ♂

一月三十一日午後十一時四十分ごろ、生活保護受給者らの自立支援を掲げる札幌市東区北十七条東一丁目共同住宅「そしあるハイム」から出火、木造一部三

階建て約四百平方メートルを全焼し、男性八人、女性二人の計十一人が死亡した。入居者十六人の大半は高齢で、身寄りがなく介護を必要と



現場「そしあるハイム」

火災は半日たって鎮火。道警は一日午後から現場検証を始めた。一階中央を通る廊下や調理場付近が激しく燃えていることから、建物内で出火した可能性があるとみている。調理場で火を使った形跡はなかったという。

そしあるハイムは札幌市北区の合同会社「なんもさサポート」が運営。以前旅館だった建物を借り、新たな住居や就職先が見つかる

している人もいたという。北海道警によると、四十八八十五歳の十一人と連絡が取れず、安否確認を急いでいる。

札幌市消防局によると、死亡した十一人のうち七人は一階で、四人は二階でそれぞれ見つかった。建物は築五十年近いとみられ、老朽化とここ数日の気温低下に伴う空気の乾燥が被害拡大につながった可能性がある。

まで一時的に高齢者らを受入れれていた。道警によると、安否不明の十一人は竹内正道さん（八十八代三人、大友靖男さんら七十七代四人、川白府幸光さんら六十代三人と西山被佐雄さん（四〇）。他の入居者三人は気道のやけどなどを負ったが、命に別条はない。なんもさサポートの藤本典良代表によると、共同住宅は一階と二階に石油ファンヒーター付きの六畳個室が計十六部屋あり、一人で一部屋ずつ利用していた。